

会

報

社団法人 日本病理学会
 〒113-0033
 東京都文京区本郷 2-40-9
 ニュー赤門ビル 4F
 TEL: 03-5684-6886
 FAX: 03-5684-6936
 E-mail jsp-admin@umin.ac.jp
 http://jsp.umin.ac.jp/

社団法人日本病理学会

第 258 号

平成 21 年 (2009 年) 7 月刊

1. 第 57 回 (平成 23 年度) 秋期特別学術集會会長ならびに第 101 回 (平成 24 年度) 学術集會会長の募集について (公募のお知らせ)

社団法人日本病理学会は、第 57 回 (平成 23 年度) 秋期特別学術集會会長ならびに第 101 回 (平成 24 年度) 学術集會会長を以下のとおり募集いたします。

学術評議員各位

平成 21 年 7 月
 社団法人日本病理学会
 理事長 長村 義之

日本病理学会秋期特別学術集會 (秋期特別総会) の会長ならびに学術集會 (春期総会) の会長は、定款施行細則の定めるところにより、いずれも理事会が選考し、総会において決定しています。

ここに、第 57 回 (平成 23 年度) 秋期特別学術集會会長ならびに第 101 回 (平成 24 年度) 学術集會会長を、下記の要領により募集いたします。

記

1. 応募は自薦であること。
2. 応募者は、第 57 回秋期特別学術集會会長の場合は平成 23 年 11 月 1 日に、また、第 101 回春期学術集會会長の場合は平成 24 年 4 月 1 日にそれぞれ満 65 歳以下の日本病理学会学術評議員であること。
3. 第 57 回 (平成 23 年度) 秋期特別学術集會会長の応募は、関東地区からの限定とすること (なお開催地は、会長所属機関と異なる利便性の高い場所を選択することもできる)。
4. 応募者は、日本病理学会学術集會改革案 (平成 18 年 5 月 1 日決定 会報 221 号平成 18 年 6 月掲載) の主旨を踏まえて、所定の用紙に学術集會に対する考え方、学術集會の具体的な実行計画、日本病理学会及び関連学会において近年に行った主要な学術活動等を記載すること。
5. 応募の締切りは、平成 21 年 9 月 30 日 (消印有効)

までとすること。

なお、所定用紙の交付または本件についての質問がありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

2. 理事会、学術評議員会等および総会

平成 21 年 2 月 24 日に東京・フォーレスト本郷、および 4 月 30 日にメルパルク京都にて理事会が開催され、5 月 1 日には学術評議員会・病理専門医部会、5 月 2 日には総会が開かれた。総会の席上で、第 10 回 (平成 20 年度) 学術奨励賞授賞式が行われた。また、5 月 3 日には、日本病理学会 100 周年記念事業発起人会が開催された。

これらの理事会、学術評議員会および総会では、理事長、委員会委員長の報告があった。協議事項としては、総会においては平成 20 年度事業報告並びに収支決算報告、新名誉会員 34 名の推薦者並びに新学術評議員 29 名の候補者が協議され、それぞれ理事会承認の原案どおり決定した。また、Pathology International のオンライン化については、オーナーシップの出版社との共同所有や、実施は平成 22 年 1 月から行うこと、それに伴う会費の値下げについては、細則の改定や総会での審議が必要なことから、平成 23 年度に行うことが協議され、原案のとおり承認された。

このほか、理事会では、常置委員会学術評議員新委員の選出、平成 20 年度下期の新入会員 35 名 (年度合計 202 名) が、それぞれ原案のとおり承認された。

また、学術評議員会では、「公益法人化にむけて」(深山企画委員長) などが、病理専門医部会では、「病理関係診療報酬の改定について」(黒田病理専門医部会会長) など、それぞれ報告・討議が行われた。100 周年記念事業発起人会では、実行委員会の活動が報告された。

3. 学術集會

(1) 第 98 回総会 (平成 21 年度)

京都大学を世話機関として真鍋俊明会長、鍋島陽一・松田道行副会長のもとで、平成 21 年 5 月 1 日 (金)～5 月 3 日 (日) の 3 日間、国立京都国際会館にて開催された。

宿題報告は、笹野公伸教授 (東北大学) による「Endocrinology から Intracrinology へ—ヒト乳癌局所でのエストロゲン合成とその作用」、深山正久教授 (東京大学) によ

る「感染症と癌—Epstein Barr ウイルス関連胃癌の病理」, 笹栗靖之教授 (産業医科大学) による「ヒスタミンによるコレステロール胆汁酸代謝調節と動脈硬化への関与」の3題であった。

特別講演は, 鍋島陽一教授 (京都大学) による「Klotho family の発見が切り開いた生体恒常性維持機構」, David A Sinclair 博士 (Paul F. Glenn Labs, Department of Pathology, Harvard Medical School) による「Sirtuins as Targets for Treating Age-related Diseases」の2題, 教育講演は, 佐谷秀行教授 (慶應義塾大学) による「癌の浸潤・転移に関わる分子イベント」, 小野栄夫教授 (東北大学) による「炎症疾患モデルの再発見」, 向井 清部長 (東京済生会中央病院) による「上皮内癌, 上皮内腫瘍, 上皮内病変: 概念の変遷と臨床的意義」, William D. Travis 博士 (Memorial Sloan Kettering Cancer Center) による「International Multidisciplinary Lung Adenocarcinoma Classification」, 長谷川秀樹室長 (国立感染症研究所) による「新興・再興感染症と病理の関わり」, Antonio G. Nacimento 博士と K. Krishnan Unni 博士 (Mayo Clinic) による「Soft Tissue Neoplasms of Low-Grade Malignant Behavior」と「Pitfalls in the Diagnosis of Bone Lesions」の6題が行われた。タイムリートピックスとして西川伸一博士 (理化学研究所) による「身体の考古学: エピジェネティックスと ips」, Sir James Underwood 博士 (Emeritus Professor of Pathology, University of Sheffield, UK) による日英病理学会共催教育講演「Sights Unseen, Truths Untold: Pathology and the Modern Medical Curriculum」が行われた。一般演題は1,040題が発表された。

このほかシンポジウム6件, ワークショップ10件, ランチョンセミナー13件, イブニングセミナー2件, コンパニオンミーティング11件, の発表と討論があった。学生ポスター発表, および学術奨励賞受賞者ポスター発表も行われた。

また, 系統的病理診断講習会 (神経系腫瘍性病変 神経病理学総論・非腫瘍性神経系病変) および臓器別病理診断講習会 (泌尿器・内分泌・骨軟部・心・血管・消化器・婦人科) が開かれた。

(2) 今後予定されている総会は以下のとおりである。

- 1) 第55回 (平成21年度) 秋期特別総会
世話機関: 防衛医科大学校
会 長: 松原 修教授
会 期: 平成21年11月19日 (木)~20日 (金)
会 場: 九段会館 (東京)
- 2) 第99回 (平成22年度) 総会
世話機関: 順天堂大学
会 長: 樋野興夫教授
会 期: 平成22年4月27日 (火)~29日 (木)
会 場: 新宿京王プラザホテル

- 3) 第56回 (平成22年度) 秋期特別総会
世話機関: 産業医科大学
会 長: 橋本 洋教授
会 期: 平成22年11月25日 (木)~26日 (金)
会 場: 西日本総合展示場他 (北九州市)

- 4) 第100回 (平成23年度) 総会
世話機関: 東京大学
会 長: 深山正久教授
会 期: 平成23年4月28日 (木)~30日 (土)
会 場: パシフィコ横浜

4. 常任理事会報告 (京都 総会時)

1. 長村義之理事長 (理事長報告 広報委員会 研究推進委員会 編集委員会 病理専門医制度運営委員会 口腔病理専門医制度運営委員会 医療業務委員会 教育委員会 国際交流委員会 支部委員)

① 理事長報告

- 1) 平成21年4月30日現在の病理学会会員数は, 学術評議員1,541名, 一般会員2,215名, 名誉会員271名の4,027名である。賛助会員3名, 機関会員91名である。また, 病理専門医は1,994名, 口腔病理専門医は103名である。
- 2) 診療標榜科をめぐる病理診断体制については, 病理学教授および認定施設の病理部門責任者に向けて文書を送付した。
- 3) 平成22年度の診療報酬改定に向けては, 重要項目を絞って要望をしていくところである。
- 4) 本年の理事・理事長選挙についての日程は, 追って会報に掲載する。
- 5) 初期臨床研修見直しについて, 2月5日に厚生労働省田原克志室長と面談した。後期研修については「医療における安心・希望をもたらす専門医・家庭医 (医師後期臨床研修制度) の在り方に関する研究班」(土屋了介主任研究者) の提言が3月25日に出された。
- 6) 「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」は, 本年度で当初の5年を終えるが, 2年を目処に事業を継続することが決定された。中心的な4学会 (内科学会 外科学会 病理学会 法医学学会) による, 関連学会協議会が設置された。
- 7) 臨床研究, 学会発表, 論文投稿に際しての利益相反 (COI) に関する規定作成については, 倫理委員会に検討を依頼することとした。

② 広報委員会

- 1) HP 運営は順調に行われている。
- 2) 今学会中に開催された, 医師賠償責任保険に関するイブニングセミナーを会員限定で動画配信を

- 予定している。
- ③ 研究推進委員会
- 1) 平成 21 年の病理学会カンファレンスは、7 月 31 日 8 月 1 日につくば国際会議場で開催される。
平成 22 年は、8 月 6 日および 7 日に岡山コンベンションセンターで開催される。
 - 2) 平成 21 年の技術講習会は、11 月 18 日東京で開催される。テーマは「炎症と免疫・癌」である。
- ④ 編集委員会
- 1) Pathology International の投稿が昨年は 300 を越えた。採択率は 50% 弱である。ケースレポートの投稿が多いので、オリジナル論文の投稿をお願いしたい。
 - 2) 「診断病理」は順調に投稿があった。
 - 3) 剖検輯報は、現在、第 50 輯を印刷中である。
- ⑤ 病理専門医制度運営委員会
- 1) 施設審査委員会については、認定施設と登録施設の更新審査を行った。認定施設については 181 施設が更新可、12 施設が更新不可である。登録施設については 94 施設が更新可、2 施設が更新不可であった。
 - 2) 平成 21 年と平成 22 年は、専門医試験は京都府立医科大学で行われる。
 - 3) 平成 22 年の細胞診講習会は、神戸大学の伊藤智雄教授の世話で行われる。
- ⑥ 口腔病理専門医制度運営委員会
- 1) 口腔病理専門医受験資格について検討中である。
 - 2) 病理各論コア画像のブラッシュアップ委員会に参加している。
- ⑦ 医療業務委員会
- 1) コンサルテーション委員会(森永正二郎委員長)
 - i. 標本以外の依頼書等は、事務局へは郵便からメール方式へ移行中で、この場合は手数料が 3,000 円から 2,000 円に変更となった。
 - ii. 現況では、コンサルテーションフィーは課さないというのが学会の方針である。
 - 2) 社会保険委員会(稲山嘉明委員長)
 - i. 内保連へ提案書を提出した。今年度の要望第 1 位は全ての保険医療機関で病理診断料を請求できるようにすること、異なる臓器・組織における疾患に関しては同一月内でも病理診断料を算定できるようにすること、術中迅速診断に関しては DPC から除外すること、に絞った。
 - ii. 外保連での活動には、まずは外保連試案に掲載されることが必要であり、平成 24 年度に向けて対応する。
- iii. 悪性中皮腫における免疫染色の保険収載に向けて、ガイドライン作成の要望が環境省よりあり、病理学会として前向きに取り組むこととした。
- 3) 精度管理委員会(羽場礼次委員長)
精度管理システム構築の一環として HER2 の免疫組織化学に焦点をしばらく検討している。今年度は拠点病院とサーベイ参加施設を対象に実施する予定である。
- 4) 剖検・病理技術委員会(谷山清己委員長)
 - i. 妊産婦死亡剖検マニュアルに対して、委員会で意見をまとめ送付した。
 - ii. 前立腺癌小線源療法後 1 年以内死亡時の対応マニュアルに対する Q & A を作成中である。
- 5) がん取扱規約委員会(坂本穆彦委員)
脳腫瘍・卵巣腫瘍・胃癌取り扱い規約が年内に改訂される。
- 6) 病理診断体制専門委員会(水口國雄委員長)
標榜科にともなう、病理診断体制の課題について、検討中である。
- ⑧ 教育委員会
- 1) 本総会にて教育委員会シンポジウム「病理学の学生教育と卒後教育」を開催した。
 - 2) 病理各論コア画像の改訂を行うため、委員と若手協力委員によるブラッシュアップ委員会を開催した。
- ⑨ 国際交流委員会
- 1) 英国よりシニアパソロジストとして Underwood 教授、ジュニアパソロジスト 2 名が来日し、教育講演とポスター発表を行う。
 - 2) 日英コラボレーションアワードについて前向きに取り組むことになった。
 - 3) 日独交流事業については、2010 年に日本からドイツへ、2011 年にドイツから日本へシニアパソロジストを派遣、招聘し教育講演を行うことにした。
 - 4) アジアとの交流事業では英語でのセッションを総会時に設け、そこに招待する。今年の秋の病理学会から試みる。
- ⑩ 支部委員会
- 1) 支部メールアドレス登録については、全支部ともほぼ終了し、今後、シミュレーションを経て実働することが望まれる。
 - 2) 医療施設以外でおこなわれた病理診断(いわゆる教室ブローベ)の問題について話し合った。
2. 黒田 誠常任理事(病理専門医制度運営委員会)
「病理診断に関わる研修についての細則 2.(1)」に

ついて、剖検数を50例以上から40例以上に変更し、剖検講習会の受講を必須とすることとした。ただし、平成22年度の試験については、50例以上あるいは、40例以上プラス剖検講習会の受講のどちらでも可とすることとした。

この、剖検講習会は、来年以降も毎年行われる。また、受験資格の剖検数が減ることに関して、より精度の高い剖検の指導が指導者に望まれる。

3. 深山正久副理事長（企画委員会）

① 「診断病理サマーフェスト：病理と臨床との対話」は、今年は東京大学にて開催する。テーマは、骨軟部疾患の病理と臨床である。

② 病理学会100周年記念事業については、発起人会、実行委員会を立ち上げ、準備を進めている。

③ 公益認定法人への移行については、ワーキンググループ（内藤善哉、中村直哉、坂元亨宇、佐々木毅各学術評議員）を立ち上げ勉強会を行なっている。定款の改定が必要であるが、大筋では現在の定款の文言表記を変えていく方向である。これに関連して、理事長の選出の仕方なども検討していく必要があるため、選挙制度改革を含めて新たなワーキンググループの設置も考えている。

本年度中には、具体的な申請書の作成を進め、その内容については会員に提示し、意見を聞くことにする。

5. 平成20年度事業報告並びに決算報告

平成20年度事業報告並びに収支決算報告が以下のとおりである。協議の結果、提案は承認された。

(1) 平成20年度事業報告

平成20年4月1日～平成21年3月31日まで

I. 学術集会、研究会等の開催

1. 学術集会の開催

- (1) 「第97回日本病理学会総会」（於金沢・中沼安二会長）を開催
- (2) 「第54回日本病理学会秋期特別総会」（於松山・植田規史会長）を開催

2. 研究会、講習会等の開催

- (1) 第5回日本病理学会カンファレンス（2008湘南8月1日・2日）を実施
- (2) 細胞診講習会（於東京都 3月22日・23日）を実施
- (3) 病理診断講習会（於金沢市 5月15日～17日）を実施
- (4) 病理技術講習会（於松山市 11月19日）を実施
- (5) 第2回診断病理サマーフェスト（於京都市

8月23日・24日）を実施

(6) 各支部における「学術・研究会」等を実施

3. 公開講座・シンポジウムの開催

II. 学会誌、学術図書等の発行

1. 「日本病理学会会誌」の発行（第97巻第1～2号）を発行
2. 「Pathology International」の発行（Vol. 58 4～12, Vol. 59 1～3）を発行
3. 「診断病理」の発行（第25巻第2～4号、第26巻第1号）を発行
4. 「日本病理学会会報」（第243～254号）を発行
5. 「病理専門医部会報」（2008年 第2～4号、2009年 第1号）を発行

III. 研究および調査

1. 「日本病理剖検輯報」第49輯（平成18年症例）を発行
2. 剖検輯報編集方法の変更・充実
3. 剖検記録データベースの再構築

IV. 病理専門医等の資格認定

1. 病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験（於東京都）の実施及び資格の更新
2. 病理専門医の広告
3. 「病理専門医研修手帳」の実施
4. 病理専門医研修施設の認定および資格の更新

V. 学術団体との協力、連絡

1. 学術団体等との会議共催および後援（国内）を多数実施
2. 腫瘍取扱い規約等の改訂
3. 海外病理学会との交流
 - (1) 英国病理学会との会員の相互派遣、学術交流を実施
 - (2) ドイツ病理学会との学術交流を実施

VI. その他目的を達成するために必要な事業

1. 日本病理学賞（宿題報告）を3名に授与
2. 日本病理学会学術奨励賞を5名に授与
3. 日本病理学会学術研究賞（A演説）を8名に授与
4. 病理学卒前教育の充実
5. 病理診断コンサルテーションシステムの充実
6. インターネットホームページの充実
7. 医師賠償責任保険加入取扱いを実施
8. 病理専門医制度運営、医療業務、学術・研究等の各種委員会を開催

(2) 平成 20 年度収支決算報告

1) 収支計算書

平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで

(単位 円)

科目	予算額	決算額	差異
I. 収入の部			
1. 基本財産運用収入	17,000	49,694	32,694
受取利息収入	17,000	49,694	32,694
2. 会費収入	72,680,000	69,363,000	△ 3,317,000
正会員・学術評議員会費	30,000,000	27,030,000	△ 2,970,000
同終身会費	3,000,000	2,600,000	△ 400,000
同一般会員会費	27,000,000	27,466,000	466,000
学生会員会費	30,000	0	△ 30,000
賛助会員会費	250,000	150,000	△ 100,000
機関会員会費	400,000	405,000	5,000
病理専門医部会費	12,000,000	11,712,000	△ 288,000
3. 事業収入	120,050,000	143,736,738	23,686,738
学術集会収入	80,000,000	100,509,196	20,509,196
論文掲載料収入	850,000	986,414	136,414
広告料収入	700,000	726,600	26,600
刊行物発行収入	15,000,000	14,192,000	△ 808,000
専門医制度収入	15,000,000	16,472,000	1,472,000
病理専門医部会収入	4,000,000	3,609,053	△ 390,947
講習会等収入	2,500,000	4,752,000	2,252,000
賠償責任保険事務費収入	2,000,000	2,489,475	489,475
4. 補助金収入	5,000,000	0	△ 5,000,000
5. 繰入金収入	2,600,000	2,820,000	220,000
学術医療基金繰入金収入	2,600,000	2,820,000	220,000
6. 雑収入	920,000	11,162,576	10,242,576
受取利息収入	120,000	361,241	241,241
雑収入	800,000	10,801,335	10,001,335
当期収入合計 (A)	201,267,000	227,132,008	25,865,008
前期繰越収支差額	43,564,000	54,750,056	11,186,056
収入合計 (B)	244,831,000	281,882,064	37,051,064

(単位 円)

科目	予算額	決算額	差異
II. 支出の部			
1. 事業支出	162,000,000	184,404,767	22,404,767
学術集会経費	84,500,000	99,161,098	14,661,098
学会誌発行経費	32,000,000	30,640,588	△ 1,359,412
会報発行経費	2,500,000	3,090,675	590,675
剖検輯報刊行経費	11,000,000	11,008,914	8,914
専門医制度運営経費	9,000,000	9,370,081	370,081
病理専門医部会経費	8,000,000	8,838,396	838,396
支部運営経費	6,000,000	5,850,000	△ 150,000
学術奨励等経費	4,500,000	2,880,391	△ 1,619,609
講習会等経費	2,000,000	4,578,372	2,578,372

各種委員会経費	2,500,000	3,172,120	672,120
事業人件費	0	5,814,132	5,814,132
2. 管理費	32,680,000	30,222,187	△ 2,457,813
人件費	15,000,000	8,328,807	△ 6,671,193
福利厚生費	1,800,000	2,078,514	278,514
交通費	350,000	275,000	△ 75,000
通信運搬費	2,500,000	2,722,620	222,620
会議費	1,000,000	1,261,629	261,629
印刷費	2,000,000	1,623,896	△ 376,104
備品費	200,000	0	△ 200,000
消耗品費	400,000	316,062	△ 83,938
光熱費	230,000	236,371	6,371
賃借料	2,600,000	2,523,728	△ 76,272
諸会費	800,000	900,000	100,000
補助金	200,000	0	△ 200,000
修繕費	100,000	0	△ 100,000
嘱託料	2,000,000	3,351,000	1,351,000
租税公課 (消費税等)	3,000,000	1,045,000	△ 1,955,000
(法人税等)	0	5,000,000	5,000,000
雑費	500,000	559,560	59,560
3. その他	4,300,000	4,390,490	90,490
退職給与引当預金支出	1,600,000	1,600,000	0
学術医療基金引当預金	2,700,000	2,790,490	90,490
繰入支出他			
4. 予備費	1,000,000	0	△ 1,000,000
当期支出合計 (C)	199,980,000	219,017,444	19,037,444
当期収支差額 (A-C)	1,287,000	8,114,564	6,827,564
次期繰越収支差額 (B-C)	44,851,000	62,864,620	18,013,620

2) 正味財産増減計算書

平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで

(単位 円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
当期収支差額	8,114,564		
退職給与引当預金積立金額	1,600,000		
学術医療基金引当預金積立額	2,756,459		
国際交流基金引当預金積立額	34,031	12,505,054	
2. 負債減少額			
増加額合計			12,505,054
II. 減少の部			
1. 資産減少額			0
学術医療基金引当預金取崩	2,820,000	2,820,000	
2. 負債増加額			
退職給与引当金繰入額	1,600,000	1,600,000	
減少額合計			4,420,000
当期正味財産増加額			8,085,054
前期繰越正味財産額			224,453,007
期末正味財産合計額			232,538,061

3) 貸借対照表

平成 21 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	127,075,658	
前払金	420,861	
立替金	4,445,000	
未収金	259,167	
流動資産合計		132,200,686
2. 固定資産		
基本財産	30,000,000	
その他の固定資産		
特別財産	138,658,484	
保証金	930,000	
退職給与引当預金	15,900,000	
什器備品	84,957	
その他の固定資産合計	155,573,441	
固定資産合計		185,573,441
資産合計		317,774,127
II. 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	50,747,000	
未払金	18,434,536	
預り金	154,530	
流動負債合計		69,336,066
2. 固定負債		
退職給与引当金	15,900,000	
固定負債合計		15,900,000
負債合計		85,236,066
III. 正味財産の部		
正味財産		232,538,061
(うち基本金)		(30,000,000)
(うち正味財産当期増加額)		(8,085,054)
負債及び正味財産合計		317,774,127

4) 財産目録

平成 21 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現金預金		
現金 現金手許有高	269,663	
普通預金 みずほ銀行本郷支店	123,615,320	
普通預金		
三菱東京 UFJ 銀行本郷支店	128,603	
定期預金 みずほ銀行本郷支店	98,447	
郵便振替貯金	2,963,625	
現金預金合計	127,075,658	
(2) 前払金		
家賃	195,300	
会費自動振替手数料	225,561	
前払金合計	420,861	

(3) 立替金			
PI. カラー頁印刷費	4,445,000		
(4) 未収金			
学会誌発行収入等	259,167		
流動資産合計			132,200,686
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金			
三菱東京 UFJ 銀行本郷支店	30,000,000		
(2) その他の固定資産			
① 特別財産			
学術医療基金引当預金	118,532,682		
(普通・三菱東京 UFJ 銀行春日支店他)			
国際交流基金引当預金	20,125,802		
(普通・りそな銀行本郷支店)			
特別財産合計	138,658,484		
② 保証金	930,000		
③ 退職給与引当預金	15,900,000		
④ 什器備品	84,957		
その他の固定資産合計	155,573,441		
固定資産合計			185,573,441
資産合計			317,774,127

(単位 円)

科 目	金 額	
II. 負債の部		
1. 流動負債		
(1) 前受金		
平成 21 年度会費・部会費等	50,747,000	
(2) 未払金		
英文誌印刷費等	5,860,000	
日病会誌印刷費	5,404,681	
会報印刷費	388,500	
細胞診講習会経費	1,381,355	
未払消費税	400,000	
未払法人税等	5,000,000	
未払金合計	18,434,536	
(3) 預り金		
源泉所得税等	154,530	
流動負債合計		69,336,066
2. 固定負債		
(1) 退職給与引当金	15,900,000	
固定負債合計		15,900,000
負債合計		85,236,066
正味財産		232,538,061

6. 技術講習会—分子病理学の基礎技術—9 の受講者の募集について

—病理に役立つ細胞マーキング— 受講者募集

組織は多種多様な細胞集団によって構成されていますが、各々の集団にはそれぞれ個性があります。その個性を明確化するように「マーキング」して解析することは組織そのものの特性を明らかにする上で必須の技術です。病理

診断をする際も、多様な細胞をヘマトキシリンやエオジンによる染色，あるいは免疫染色により「マーキング」することで組織診断を下しています。病理学研究においても，多種多様な細胞集団から，ある特定の細胞を「マーキング」して選り出し，その挙動を調べる技術が多用されています。近年，マーキング技術，マークされた細胞を単離する技術の顕著な進歩がみられ，実際の病理診断，病理学研究においてその習得は重要となっています。

そこで第9回日本病理学会病理技術講習会では，病理診断，病理研究に多用される細胞マーキング，その応用についての技術講習を行います。まず，遺伝子および蛋白質をマーキングする技術として，DNA レベルでの変異のマーキング，DNA 変異の結果を蛋白質レベルの変化として捉えるマーキング，蛋白質，mRNA の発現パターンの違いをマーキングする方法について講習を行います。さらに蛍光色素で細胞を標識して，その挙動を調べる方法について，また腫瘍幹細胞を単離する際に用いられるマーキング技術について講習を行います。

以下の要領で参加者を募集いたしますので，会員諸氏にはふるってご応募されますようにご案内いたします。なお，本講習会の受講により日本病理学会病理専門医資格更新のための生涯学習単位5単位が認められます。

記

1. 日 時：2009年11月18日（水）
第55回日本病理学会秋期特別総会前日
13:00-17:20
 2. 場 所：ホテルグランドヒル市ヶ谷 2F
瑠璃西の間
 3. 演題と演者
 - (1) 「DNA レベルでの変異のマーキング」
藤井 博昭（上尾中央臨床検査研究所）
 - (2) 「DNA 変異の結果を蛋白質レベルの変化として捉えるマーキング」
横崎 宏（神戸大学）
 - (3) 「蛋白質，mRNA 発現パターンのマーキング；in situ hybridization を応用として」
國安 弘基（奈良県立医科大学）
 - (4) 「EGFP など蛍光色素を利用したマーキング」
大保木啓介（国立成育医療センター）
 - (5) 「マーキング技術を利用した腫瘍幹細胞の同定」
森井 英一（大阪大学）
- プログラムの詳細につきましては，日本病理学会ホームページ（<http://jsp.umin.ac.jp>）をご参照ください。
4. モデレーター：青笹克之，森井英一（大阪大学）
横崎 宏（神戸大学）

5. 講義担当者：5名
6. 募集人員：120名
7. 受講料：5,000円（ハンドアウト代含む）
8. 応募，問い合わせ，参加決定：
 - (1) 受講希望者は，受講を希望すると旨とともに，氏名，所属，会員・非会員の区別，連絡先（住所，電話番号，FAX 番号，E-mail address 等）を記載の上，以下の応募先までお申し込みください。
応募先：社団法人日本病理学会事務局
TEL：03-5684-6886 FAX：03-5684-6936
E-mail：jsp-admin@umin.ac.jp
内容の問い合わせ先：森井英一
（大阪大学・病態病理学・病院病理部）
TEL：06-6879-3711 FAX：06-6879-3719
E-mail：morii@patho.med.osaka-u.ac.jp
 - (2) 学会員は先着順に参加決定いたします。非会員は10月15日時点での空き分について参加を受け入れます。

7. 各種委員会の委員構成（平成21年4月現在）

委員の一部に交代があり，委員会の構成は以下のとおりとなった。

1. 企画委員会
深山正久（委員長），岡田保典，真鍋俊明，黒田 誠，坂本穆彦，覚道健一，松原 修，本山悌一，上田真喜子，大橋健一
- 1-2. サマーフェスト委員会
真鍋俊明（委員長），福嶋敬宜，久岡正典，平戸純子，清川貴子，田丸淳一，柴原純二
- 1-3. 市民公開講座検討委員会
岡田保典（委員長），深山正久，羽場礼次，樋野興夫，中山 淳，落合淳志，坂元亨宇，安井 弥
2. 広報委員会
坂本穆彦（委員長），岡田保典，真鍋俊明，黒田 誠，深山正久，向井 清，居石克夫，上田真喜子，山口 朗，藤井丈士，望月 眞，谷山清己
3. 財務委員会
真鍋俊明（委員長），岡田保典，黒田 誠，深山正久，坂本穆彦，松原 修，向井 清
4. 学術委員会
岡田保典（委員長），真鍋俊明，黒田 誠，深山正久，坂本穆彦，青笹克之，佐藤昇志，居石克夫，山口 朗，樋野興夫，能勢真人，落合淳志，坂元亨宇，高橋雅朗，山本哲郎，当該年春期総会会長（深山正久），秋期特別総会会長（橋本 洋）
- 4-2. 学術奨励賞選考委員会
青笹克之（委員長），深山正久，井内康輝，松原 修，

- 坂本穆彦, 向井 清, 岡田保典 (学術委員長) 覚道健一 (教育委員長), 黒田 誠 (病理専門医制度運営委員長)
5. 研究推進委員会
青笹克之 (委員長), 深山正久, 岡田保典, 松川昭博, 笹野公伸, 高桑徹也, 恒吉正澄, 中村卓郎, 中山 淳
6. 編集委員会
向井 清 (委員長), 深山正久, 坂本穆彦, 真鍋俊明, 岡田保典, 青笹克之, 覚道健一, 根本則道, 高橋雅英, 向井万起男
- 6-2. Pathol Int 常任刊行委員会
高橋雅英 (委員長), 藤本純一郎, 福嶋敬宜, 小野栄夫, 廣瀬隆則, 石田 剛, 城 謙輔, 鬼島 宏, 森永正二郎, 本山悌一, 向井 清, 中谷行雄, 中里洋一, 野口雅之, 落合淳志, 小田義直, 岡田保典, 大島孝一, 坂元亨宇, 佐野壽昭, 佐多徹太郎, 清水道生, 滝澤登一郎, 堤 寛, 都築豊徳, 上田真喜子, 梅村しのぶ, 横山繁生, 吉野 正
- 6-3. 剖検情報委員会
根本則道 (委員長), 藤原 恵, 市原 周, 楠美嘉晃
7. 病理専門医制度運営委員会
黒田 誠 (委員長), 根本則道, 覚道健一, 白石泰三, 泉 美貴, 森永正二郎, 森谷卓也, 村田哲也, 仁木利郎, 野島孝之, 清水道生, 田村浩一, 向井万起男
- 7-2. 病理専門医試験委員会
仁木利郎 (委員長), 村田哲也, 小西 登, 野口雅之, 大橋健一, 梅村しのぶ, 中谷行雄, 大林千穂
- 7-3. 病理専門医資格審査委員会
森永正二郎 (委員長), 泉 美貴, 野口雅之, 伊藤智雄, 菅井 有, 津田 均
- 7-4. 病理専門医施設審査委員会
村田哲也 (委員長), 野島孝之, 伊藤浩史, 中村直哉, 小田義直, 谷田部恭
- 7-5. 「診断病理」編集委員会
向井万起男 (委員長), 笹島ゆう子 (副), 布村眞季 (副), 安田政実 (副), 長谷川匡, 鬼島 宏, 内藤善哉, 伊藤浩史, 横崎 宏, 松川昭博, 横山繁生 (以上支部編集委員)
- 7-6. 病理専門医部会報編集委員会
清水道生 (委員長), 堤 寛 (副), 望月 眞 (副), 佐藤昌明, 鬼島 宏, 上田善彦, 福留寿生, 大山秀樹, 藤原 恵, 小田義直
- 7-7. 病理診断講習会委員会
清水道生 (委員長), 森谷卓也, 福嶋敬宜, 鷹橋浩幸, 笹島ゆう子, 小田義直
- 7-8. 病理診断体制専門委員会
水口國雄 (委員長), 羽山忠良, 岸川正大, 小松明男, 大橋健一, 嶋田裕之, 田村浩一, 安田政実, 黒田 誠, 根本則道, 谷山清己, 佐々木毅
8. 医療業務委員会
根本則道 (委員長), 真鍋俊明, 本山悌一, 白石泰三, 松野吉宏, 清水道生, 廣川満良, 湊 宏, 大橋健一
- 8-2. コンサルテーション委員会
森永正二郎 (委員長), 森谷卓也, 清川貴子, 長嶋洋治, 都築豊徳, 吉野 正
- 8-3. 社会保険委員会
稲山嘉明 (委員長), 逸見明博, 熊坂利夫, 森 正也, 大倉康男, 佐々木毅, 横山宗伯, 嶋田裕之, 島村和男 (顧問: 原 正道, 水口國雄)
- 8-4. 精度管理委員会
羽場礼次 (委員長), 鬼島 宏, 長嶋洋治, 大林千穂, 清水禎彦, 和田 了, 柳井広之, 木佐貫篤
- 8-5. 剖検・病理技術委員会
谷山清己 (委員長), 明石 巧, 筑後孝章, 長谷川剛, 万代光一, 仲里 巖, 清水秀樹, 山城勝重, 柳井広之
- 8-6. 癌取扱い規約委員会
坂本穆彦 (委員長), 伊藤以知郎, 森永正二郎
9. 口腔病理専門医制度運営委員会
山口 朗 (委員長), 覚道健一, 仙波伊知郎, 高田 隆, 田中陽一, 出雲俊之, 前田初彦, 豊澤 悟
- 9-2. 口腔病理専門医試験委員会
出雲俊之 (委員長), 田中陽一, 豊澤 悟, 仙波伊知郎, 長塚 仁
- 9-3. 口腔病理専門医資格審査委員会
高田 隆 (委員長), 仙波伊知郎
10. 教育委員会
覚道健一 (委員長), 井内康輝, 寺田信行, 羽場礼次, 伊藤浩史, 下 正宗, 若狭朋子, 長嶋洋治
11. 国際交流委員会
松原 修 (委員長), 佐藤昇志, 久岡正典, 清川貴子, 笹野公伸, 都築豊徳, 荒川 敦
12. 支部委員会
居石克夫 (委員長), 佐藤昇志, 本山悌一, 根本則道, 白石泰三, 寺田信行, 井内康輝
13. 倫理委員会
井藤久雄 (委員長), 武村民子, 堤 寛, 伊藤雅文, 本山悌一, 長嶋洋治, 増井 徹 (外部委員), 中島みち (外部委員), 宇都木伸 (外部委員)
14. リスクマネジメント委員会
井内康輝 (委員長), 野々村昭孝, 長村義之, 坂本穆彦, 児玉安司 (外部委員)
15. 医療関連死関係専門委員会
黒田 誠 (委員長), 深山正久, 真鍋俊明, 森 茂郎, 根本則道, 野口雅之, 岡崎悦夫, 加治一毅

16. プログラム推進委員会

青笹克之（委員長）、深山正久、黒田 誠、岡田保典、
村田哲也、清水道生、梅村しのぶ

17. 人材育成委員会

上田真喜子（委員長）深山正久、向井 清、坂本穆彦、
羽賀博典、渡邊みか、梅村しのぶ、大井章史、武島幸
男、小田義直、大橋健一

17-2. 若手医師確保に関する委員会

大橋健一（委員長）、羽場礼次、茅野秀一、鬼島 宏、
北川昌伸、長嶋洋治、笹島ゆう子、鈴木 貴、田村浩
一、谷山清己、伊倉義弘、森井英一、豊國伸哉

8. 平成 21 年度病理専門医研修施設（認定施設）更新
機関

（第 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30
181 施設）

期間 2 年間 平成 21 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

第 2 回 認可（13 施設）

認定番号 施設名

2005	山形県立中央病院
2006	（財）竹田総合病院
3019	埼玉県立がんセンター
3020	（財）癌研究会有明病院
3021	JR 東京総合病院
3022	国家公務員共済組合連合会虎の門病院
4007	新潟市民病院
4008	名古屋第一赤十字病院
4009	独立行政法人国立病院機構金沢医療センター
5009	大阪府立急性期・総合医療センター
5010	独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院
7002	九州厚生年金病院
7003	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター

第 4 回 認可（2 施設）

認定番号 施設名

3028	日本赤十字社医療センター
4010	長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院

第 6 回 認可（5 施設）

認定番号 施設名

3035	越谷市立病院
3039	総合病院国保旭中央病院
3040	東京都立清瀬小児病院
4015	長野赤十字病院
5017	奈良県立奈良病院

第 8 回 認可（8 施設）

認定番号 施設名

3045	公立学校共済組合関東中央病院
3046	東京都立府中病院
4017	静岡県立総合病院
4018	社会保険中京病院
5019	（財）日本生命済生会附属日生病院
5020	兵庫県立西宮病院
5021	兵庫県立淡路病院
6017	広島市立安佐市民病院

第 10 回 認可（10 施設）

認定番号 施設名

3002	群馬県立がんセンター
3052	伊勢崎市民病院
3054	東京都済生会中央病院
4024	長岡赤十字病院
4025	富士市立中央病院
4026	聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院
4027	富山県立中央病院
5012	（財）住友病院
5025	大阪府立母子保健総合医療センター
7011	北九州市立医療センター

第 12 回 認可（10 施設）

認定番号 施設名

3060	（株）日立製作所日立総合病院
3061	東京歯科大学市川総合病院
3062	東京都立墨東病院
3063	公立昭和病院
3064	恩賜財団済生会横浜市南部病院
4030	公立陶生病院
6019	松山赤十字病院
7012	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院
7013	熊本市立熊本市市民病院
7014	宮崎県立宮崎病院

第 14 回 認可（11 施設）

認定番号 施設名

2015	（財）温知会会津中央病院
3069	茨城県立中央病院・地域がんセンター
3070	医療法人社団千葉県勤労者医療協会船橋二和病院
3071	東京都立大塚病院
3072	東京警察病院
3073	医療法人社団健生会立川相互病院
4034	藤枝市立総合病院
4035	松波総合病院

- 4036 三重県厚生農業協同組合連合会鈴鹿中央総合病院
 5033 NTT 西日本大阪病院
 6021 広島赤十字・原爆病院

第16回 認可（4施設）

- | 認定番号 | 施設名 |
|------|-----------------------|
| 1010 | JA 北海道厚生連旭川厚生病院 |
| 2017 | 盛岡赤十字病院 |
| 3076 | 独立行政法人労働者健康福祉機構東京労災病院 |
| 3077 | 独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院 |

第18回 認可（12施設）

- | 認定番号 | 施設名 |
|------|-----------------------|
| 3079 | 総合病院土浦協同病院 |
| 3080 | さいたま市立病院 |
| 3081 | 国立がんセンター東病院 |
| 4016 | 総合病院名古屋第二赤十字病院 |
| 4042 | 黒部市民病院 |
| 4043 | 豊橋市民病院 |
| 4045 | 小牧市民病院 |
| 5040 | 大阪市立総合医療センター |
| 5041 | 独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院 |
| 6023 | 鳥根県立中央病院 |
| 6024 | 高松赤十字病院 |
| 7019 | 佐世保市立総合病院 |

第20回 認可（4施設）

- | 認定番号 | 施設名 |
|------|----------------------|
| 3086 | 財団法人東京都保健医療公社荏原病院 |
| 4047 | 聖隷三方原病院 |
| 5043 | 市立岸和田市民病院 |
| 5044 | 独立行政法人国立病院機構神戸医療センター |

第22回 認可（31施設）

- | 認定番号 | 施設名 |
|------|-----------------------|
| 1011 | 旭川赤十字病院 |
| 1012 | KKR 札幌医療センター |
| 2022 | 独立行政法人労働者健康福祉機構東北労災病院 |
| 2023 | 仙台市立病院 |
| 2024 | 東北厚生年金病院 |
| 2025 | 石巻赤十字病院 |
| 2026 | 秋田赤十字病院 |
| 3048 | さいたま赤十字病院 |
| 3051 | 横須賀市立市民病院 |
| 3092 | 茨城県済生会水戸済生会総合病院 |
| 3093 | 独立行政法人労働者健康福祉機構鹿島労災病院 |
| 3096 | (財)東京都保健医療公社大久保病院 |

- | | |
|------|------------------------|
| 3097 | 医療法人財団河北総合病院 |
| 4003 | 愛知県がんセンター中央病院 |
| 4005 | 富山市立富山市民病院 |
| 4019 | 岐阜県立多治見病院 |
| 4051 | 諏訪赤十字病院 |
| 4054 | 医療法人豊田会刈谷豊田総合病院 |
| 4055 | 独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター |
| 5024 | 市立豊中病院 |
| 5047 | 社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院 |
| 5048 | 東大阪市立総合病院 |
| 5049 | 公立豊岡病院 |
| 5051 | 日本赤十字社和歌山医療センター |
| 6008 | 香川県立中央病院 |
| 6025 | 松江赤十字病院 |
| 6026 | 独立行政法人労働者健康福祉機構香川労災病院 |
| 6027 | 徳島赤十字病院 |
| 7008 | 鹿児島市立病院 |
| 7021 | 福岡赤十字病院 |
| 7022 | 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター |

第24回 認可（12施設）

- | 認定番号 | 施設名 |
|------|----------------------------|
| 1006 | 独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター |
| 2029 | 米沢市立病院 |
| 3104 | 独立行政法人国立病院機構栃木病院 |
| 3106 | 桐生厚生総合病院 |
| 4059 | 独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター松本病院 |
| 4060 | 済生会新潟第二病院 |
| 5007 | 兵庫県立尼崎病院 |
| 5063 | 社会保険神戸中央病院 |
| 5064 | 神戸市立西市民病院 |
| 5065 | 滋賀県立成人病センター |
| 7025 | 公立八女総合病院 |
| 7026 | 医療法人白十字会佐世保中央病院 |

第26回 認可（22施設）

- | 認定番号 | 施設名 |
|------|----------------------|
| 1023 | 北海道立子ども総合医療・療育センター |
| 1024 | 医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 |
| 3047 | 国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院 |
| 3094 | 医療法人社団東光会戸田中央総合病院 |
| 3111 | 利根保健生活協同組合利根中央病院 |
| 3112 | 独立行政法人国立病院機構水戸医療センター |
| 3113 | 埼玉県済生会川口総合病院 |
| 3114 | 北里研究所病院 |
| 3116 | 日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院 |

3117	川崎市立井田病院
3118	財団法人神奈川県警友会けいゆう病院
4066	愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院
4067	新潟県立新発田病院
4068	高岡市民病院
5068	彦根市立病院
5069	医療法人徳洲会宇治徳洲会病院
5070	医療法人社団洛和会洛和会音羽病院
5072	独立行政法人国立病院機構近畿中央胸部疾患センター
5073	独立行政法人労働者健康福祉機構和歌山労災病院
6034	高松市民病院
7032	千鳥橋病院
7033	医療法人社団新日鐵八幡記念病院

第 28 回 認可 (25 施設)

認定番号	施設名
1009	社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院
2036	みやぎ県南中核病院
3123	公立藤岡総合病院
3124	深谷赤十字病院
3125	埼玉社会保険病院
3126	埼玉県立小児医療センター
3127	財団法人筑波メディカルセンター筑波メディカルセンター病院
3128	独立行政法人国立病院機構千葉医療センター
3130	(財)東京都保健医療公社多摩南部地域病院
3131	石心会川崎幸病院
4020	独立行政法人労働者健康福祉機構中部労災病院
4072	富山赤十字病院
4073	富山県済生会高岡病院
4074	JA 長野厚生連小諸厚生総合病院
4075	静岡市立清水病院
4076	愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院
4077	半田市立半田病院
4078	稲沢市民病院
5050	医療法人社団新日鐵広畑病院
5079	医療法人生長会ベルランド総合病院
5080	国家公務員共済組合連合会大手前病院
6037	徳島県立中央病院
6039	福山市医師会診断病理学センター
6040	独立行政法人国立病院機構東広島医療センター
7037	社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会八幡総合病院

第 30 回 認可 (12 施設)

認定番号	施設名
1027	医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院
4081	静岡赤十字病院
4082	名古屋記念病院
4083	名古屋市長東市民病院
5082	独立行政法人労働者健康福祉機構神戸労災病院
5083	姫路赤十字病院
6044	総合病院岡山市立市民病院
6045	三豊総合病院
6046	財団法人永頼会松山市民病院
6047	高知赤十字病院
6048	高知医療センター
7040	独立行政法人労働者健康福祉機構熊本労災病院

9. 平成 21 年度病理専門医研修施設 (登録施設) 更新機関

(第 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30
94 施設)

期間 2 年間 平成 21 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

第 2 回 認可 (3 施設)

登録番号	施設名
3028	総合病院厚生中央病院
3029	川崎医療生活協同組合川崎協同病院
4024	浜松赤十字病院

第 4 回 認可 (3 施設)

登録番号	施設名
5024	公立南丹病院
6011	総合病院水島協同病院
7018	社会保険宮崎江南病院

第 6 回 認可 (7 施設)

登録番号	施設名
2011	地方独立行政法人秋田県立病院機構秋田県立脳血管研究センター
3036	医療法人社団順江会江東病院
4002	市立島田市民病院
4028	市立岡谷病院
4030	高山赤十字病院
7021	公立学校共済組合九州中央病院
7025	総合病院鹿児島生協病院

第 8 回 認可 (3 施設)

登録番号	施設名
3055	横浜市立みなと赤十字病院
5034	西宮市立中央病院

6016 下関市立中央病院

第 10 回 認可 (4 施設)

登録番号 施設名

3058 神奈川県厚生農業協同組合連合会伊勢原協同病院
3060 神奈川県立循環器呼吸器病センター
5036 市立吹田市民病院
7030 鹿児島市医師会病院

第 12 回 認可 (1 施設)

登録番号 施設名

4047 医療法人(社団) 中信勤労者医療協会松本協立病院

第 14 回 認可 (4 施設)

登録番号 施設名

2016 津軽保健生活協同組合健生病院
5045 西脇市立西脇病院
6018 岡山医療生活協同組合総合病院岡山協立病院
7033 国家公務員共済組合連合会新小倉病院

第 16 回 認可 (3 施設)

登録番号 施設名

7037 福岡市立こども病院・感染症センター
7038 独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
7039 医療法人同心会古賀総合病院

第 18 回 認可 (5 施設)

登録番号 施設名

3078 東芝病院
4064 長野県立こども病院
4065 土岐市立総合病院
5049 医療法人川崎病院
6025 独立行政法人国立病院機構福山医療センター

第 20 回 認可 (1 施設)

登録番号 施設名

4073 済生会松阪総合病院

第 22 回 認可 (11 施設)

登録番号 施設名

1018 苫小牧市立総合病院
2010 岩手県立宮古病院
4076 独立行政法人国立病院機構長野病院
4077 医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院
5060 公立甲賀病院
5065 医療法人きっこう会総合病院多根病院

6002 国家公務員共済組合連合会広島記念病院

6037 独立行政法人国立病院機構善通寺病院

6038 社会福祉法人恩賜財団済生会松山病院

6039 済生会西条病院

6040 愛媛県立今治病院

第 24 回 認可 (6 施設)

登録番号 施設名

1021 江別市立病院
1022 滝川市立病院
3091 神奈川県厚生農業協同組合連合会相模原協同病院
4083 磐田市立総合病院
5068 社会福祉法人恩賜財団済生会京都府病院
6041 独立行政法人国立病院機構高知病院

第 26 回 認可 (13 施設)

登録番号 施設名

1023 独立行政法人労働者健康福祉機構北海道中央
労災病院
2025 市立秋田総合病院
2027 公立気仙沼総合病院
3096 社会保険群馬中央総合病院
3097 群馬県済生会前橋病院
3099 社会保険山梨病院
4087 社会福祉法人聖霊会聖霊病院
4088 医療法人偕行会名古屋共立病院
4090 国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院
5075 医療法人宝生会 PL 病院
5077 神戸百年記念病院
6044 公立学校共済組合中国中央病院
6045 財団法人津山慈風会津山中央病院

第 28 回 認可 (12 施設)

登録番号 施設名

1025 名寄市立総合病院
1026 総合病院北見赤十字病院
1027 JA 北海道厚生連帯広厚生病院
2028 福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院
3100 独立行政法人労働者健康福祉機構千葉労災病院
3101 社団法人地域医療振興協会横須賀市うわまち病院
4094 伊那中央病院
4095 独立行政法人労働者健康福祉機構旭労災病院
5080 医療法人景岳会南大阪病院
6049 財団法人倉敷成人病センター
7047 宮崎県立日南病院
7054 大分赤十字病院

第30回 認可 (18施設)

登録番号	施設名
1031	総合病院伊達赤十字病院
1032	総合病院釧路赤十字病院
1033	特定医療法人北楡会 札幌北楡病院
1034	医療法人社団北斗 北斗病院
3112	千葉県済生会習志野病院
3113	佐野厚生総合病院
4089	医療法人社団志聖会犬山中央病院
4098	安曇野赤十字病院
4099	国立長寿医療センター
4100	独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター
4111	福祉医療センター名古屋市厚生院附属病院
5083	阪南中央病院
5084	市立小野市民病院
5085	三木市立三木市民病院
6053	独立行政法人国立病院機構浜田医療センター
6054	独立行政法人労働者健康福祉機構山口労災病院
7059	独立行政法人国立病院機構大分医療センター
7060	社団法人鹿児島共済会南風病院

10. 常任理事会報告 (4月～6月)

◎第1回 (平成21年4月15日 (水))

- 平成22年度診療報酬改定については、4月20日締切りで要望書を内保連に提出した。
内保連代表の齋藤壽一先生との面談を4月20日に予定している。
- 国際交流事業については、京都での総会時に英国よりシニア1名ジュニア2名を招聘している。また、英国からの新規事業の申し入れについては、国際交流委員会に検討を依頼することとした。
- 教育委員会で推進しているコア画像のブラッシュアップについては、今後のあり方等の検討を委員会に依頼している。
- 人材育成委員会のアンケート結果については、京都総会時のシンポジウムで上田委員長より講演される予定である。
- 公益法人化については、4月1日に第3回目の勉強会を開催した。委員で分担して事業の公益性を具体的に書き出しているところである。定款の改定等についても弁護士からアドバイスを受けている。
- 100周年記念事業については、5月3日の発起人会の案内を、資料を添付して送ることにしている。
- 平成20年度収支決算案を理事会および総会に諮ることとした。
- PIN On line only 化について、より具体的な内容を理事会、総会に諮ることとした。

- 受験時の剖検数については、病理専門医制度運営委員会に検討を依頼している。
- 来年の細胞診講習会の開催地については、神戸大学の伊藤智雄教授に内諾を得た。
- 選挙管理委員会の委員について検討した。

◎第2回 (平成21年6月3日 (水))

- 平成22年度診療報酬改定に関しての厚生労働大臣宛要望書を提出した(6月4日)。
要望の第1位は、「病院のみならず診療所も含めたすべての保険医療機関において算定可能とする」である。その他、「術中迅速病理組織標本作製の出来高算定」「細胞診断料の新設」である。
- 日本医師会から「医療・医学における死亡時画像診断 (Ai) に関する検討委員会」への委員参加の依頼があったので、委員を推薦することとした。
- HER2の精度管理事業について、根本医療業務委員長と乳癌学会の病理学会員とで意見の交換を行った。今後、病理学会精度管理委員会と乳癌学会の病理学会員とでワーキンググループを新たに立ち上げる方向性を指すとの報告があった。
- 京都総会時の教育委員会シンポジウム演者・座長より「日本における病理学教育はいかにあるべきか」との提言提出があった。教育委員会報告との形で再提出を依頼した。
- 人材育成委員会を6月20日に開催する。昨年のアンケート集計結果から提言をまとめる作業を行うとのことである。
- 利益相反については倫理委員会に検討を依頼しており、次回常任理事会までに提言があることになっている。
- 「診断病理」依頼総説カラー頁印刷代については、号毎に1題のみ5万円を学会負担とすることとした。
- 泌尿器科関連(腎癌 腎盂・尿管癌 膀胱癌 前立腺癌)の癌取扱い規約の改訂について、病理学会癌取扱い規約委員会坂本穆彦委員長の申し出により、病理側委員を選任した。
- 平成22/23年度役員選挙に係る第1回選挙管理委員会が6月5日に開催される。
- 公益法人化WG勉強会が6月17日に開催される。
- 100周年企画記念事業委員会が6月8日に開催される。
- 平成21年4月からのサマーフェスト委員会委員を選任した。
- 第100回病理学会総会時の宿題報告は2名までということで、会報6月号で募集することとした。
- 京都総会時における市民公開講座のアンケート集計

結果が京都大学より示された。

15. Pathology International のオンラインオンリー化に伴い、毎月発行の会報の今後の対応を検討した。
16. 病理専門医試験については、受験申請時必要剖検数の変更のアナウンスや、剖検のまとめ方の重要性を周知していく必要がある。

11. 会員の訃報

以下の方がご逝去された。

深津 俊明 学術評議員（平成 21 年 5 月 10 日ご逝去）

お知らせ

1. 2009 年度朝日賞候補者の推薦について

申込み締切り：2009 年 8 月 31 日

連絡先：朝日新聞社事業本部メセナ・スポーツ部「朝日賞」事務局
〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2
TEL：03-5540-7453 FAX：03-3541-8999

2. 平成 21 年度上原賞（研究業績褒賞）受賞候補者の推薦について

申込み締切り：平成 21 年 9 月 8 日

連絡先：(財)上原記念生命科学財団
〒171-0033 東京都豊島区高田 3-26-3
TEL：03-3985-3500 FAX：03-3982-5613
E-mail：uehara-f@jade.dti.ne.jp

3. 平成 21 年度（第 31 回）沖縄研究奨励賞推薦応募について

申込み締切り：平成 21 年 9 月 30 日
連絡先：(財)沖縄協会「沖縄研究奨励賞」事務局
〒112-0004 東京都文京区後楽 1-2-9
エー・ゼットキュービル 5F
TEL：03-5803-2341 FAX：03-3803-2581
E-mail：okinawakyoukai@nifty.com

4. 第 13 回 日本内分泌病理学会 学術総会について

日時：2009 年 10 月 24 日（土）～ 25 日（日）
会場：山梨大学甲府キャンパス
山梨県甲府市武田 4-4-37
会長：加藤良平（山梨大学大学院医学工学総合研究部 人体病理学 教授）
演題登録：2009 年 6 月 1 日（月）～ 7 月 31 日（金）
ホームページ：<http://www.nacos.com/jeps/index.html>
事務局：山梨大学大学院医学工学総合研究部 人体病理学 近藤 哲夫 宛
〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110
TEL：055-273-9529 FAX：055-273-9534
E-mail：jeps2009@med.yamanashi.ac.jp

5. 2010 年度女性科学者に明るい未来をの会「猿橋賞」受賞候補者の推薦について

申込み締切り：2009 年 11 月 30 日
連絡先：女性科学者に明るい未来の会
〒247-0022 横浜市栄区庄戸 5-14-3
E-mail：saruhashi2008@saruhashi.net